

いじめ



しない させない 見逃さない!!



埼玉県マスコット
「コバトン」

いじめは卑怯で恥ずかしい行為であり、決して許されるものではありません。しかし、どの学校でも、どの子供にも起こりうる問題です。

いじめを生まないためには、いじめを許さない厳しい目と、小さなサインを見逃さない温かい目を持って子供に接することが大切です。

※「いじめ防止対策推進法」では、保護者の責務として、自分の子供がいじめをしないよう指導に努めること、いじめを受けた場合適切に保護すること等が規定されています。

誰もがいじめる側、いじめられる側になる可能性があります 子供の小さなサインを見逃さないようにしましょう！

家庭用いじめ発見チェックシート

埼玉県教育委員会作成

1 起床から登校前

- 布団からなかなか出てこなかったり、具合が悪そうである
- けだるそうな、疲れた表情である
- いつもと違って朝食を食べようとしない
- ぼんやりしたり、ふさぎこんでいたりする
- 学校に行くのを渋ったり、登校班の集合場所に行きたがらない

2 登校中

- 友達の荷物を持たされている
- 一人で登校するようになる
- 遠回りで登校している
- 途中で家に戻ってくる

3 帰宅時

- 理由のはっきりしない服の汚れ、破れやボタンのほつれがある
- あざや擦り傷があってもその理由を言わない
- 自分の部屋に駆け込み、なかなか出てこない
- いつもより帰宅が遅い
- 自転車や持ち物等が壊されている
- 学校の話をしなくなる
- 外出したくない
- プリントが破れている、道具や持ち物に落書きがある

4 夕食時から就寝まで

- 食欲がない
- 特定の友達に対する言葉づかいが不自然にている
- 友達の話をしなくなったり、いつも遊んでいた友達と遊ばなくなったりする
- お金の使い方が荒くなったり、無断で持ち出すようになる
- 部屋にある持ち物や学用品がなくなっていく
- 買い与えた覚えのない品物を持っている
- メールをこそこそ見る、鳴っている携帯電話に出たがらない
- 部屋に閉じこもりがちで、好きな趣味などにも興じなくなる
- 家族の者と話をしなくなる
- いじめの話をするとう強く否定する
- 弟や妹をいじめるなど、急に乱暴になったり情緒不安定になる
- 疲れた様子であったり、なかなか寝つけなかったりしている
- 普段より暗かったり、逆に明るく演じたりする感じがする

いじめのサインを発見したら
学校に相談しましょう。

